

日工グループの2021年度連結業績は売上高が過去最高の388億円、事業別構成比はAP関連が47.2%（2020年度：51.4%）、BP関連が27.9%（同24.3%）、環境及び搬送関連が7.8%（同6.3%）、その他が17.1%（17.9%）となりました。このうち海外は中国とタイでの増収が大きく全体の12.2%（同9.9%）を占めました。セグ

メント別はAP関連が原材料高で道路舗装会社の業績が悪化するなど国内が大きく落ち込み5.9%減、BP関連は生コン市況の安定もあり17.7%増、環境及び搬送関連は26.3%増、その他はモバイル製品が好調も仮設機材が落ち込み2.0%減となりました。

	AP関連事業	BP関連事業	環境及び搬送関連事業	MOBIL その他事業
事業内容	<p><b>主要製品</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アスファルトプラント</li> <li>●リサイクルプラント</li> <li>●破碎プラント</li> <li>●合材サイロ</li> <li>●電子制御機器、工場管理システム</li> </ul> <p><b>ABD</b> 多様なニーズに対応可能なオーダーメイドモデルAP</p> <p><b>VP II</b> リサイクルをメインとしたエコロジカルモデルAP</p> <p><b>CBD</b> タイ・東南アジア市場へグローバルモデルAP</p>	<p><b>主要製品</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コンクリートプラント</li> <li>●コンパクトコンクリートプラント</li> <li>●コンクリートポンプ</li> <li>●電子制御機器、工場管理システム</li> <li>●コンクリート製品生産用工場設備等</li> </ul> <p><b>DASH-H275EvoV Twin-ADV</b> 超高強度コンクリートプラント</p> <p><b>DASH-H167 Pro065T</b> 大型プレキャストコンクリートプラント</p> <p><b>ONZEMIX-T50</b> Mobile BP</p>	<p><b>主要製品</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ベルトコンベヤ、設備用コンベヤ、缶・ビン選別機</li> <li>●油汚染土壌浄化プラント、プラスチックリサイクルプラント</li> </ul> <p><b>モジュラーコンベヤ</b> 10cm刻みで長さ調整ができるパイプフレーム構造のコンベヤ</p> <p><b>石膏系固材製造設備</b> 石膏粉を乾燥し半水石膏を製造。セメントや石灰とブレンドし固材を製造する設備です。</p> <p><b>スーパーモジュラーコンベヤ</b> 安全性を重視した簡易密閉タイプの鋼板フレーム構造のコンベヤ</p>	<p><b>主要製品</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●パイプ枠組足場、鋼製道板</li> <li>●アルミ製仮設昇降階段</li> <li>●シヨベル、スコップ</li> <li>●小型コンクリートミキサ、モルタルミキサ</li> <li>●水門、防水板、破碎機</li> <li>●不動産賃貸、建設機械製品リース</li> <li>●住宅リフォームの販売等</li> </ul> <p><b>ハンマークラッシャー</b> ロストルサイズにより粒度調整ができ、1回の破碎で希望粒度へ</p> <p><b>モバイルプラント</b> 自走式破碎機ライン一式（破碎機・スクリーン・ベルトコンベヤ等）</p> <p><b>防水板</b> 地球温暖化による水害（内水氾濫）に威力を発揮する防水板</p>
2021年度事業内訳	<p>国内プラント販売の構成比は-6.5% pt、MSは-0.1% ptの半面、日工上海が+2.8% pt、輸出とタイが+3.7% ptとなりました。</p> <p>中国事業 20.6% プラント販売 26.5% メンテナンスサービス 48.0% 輸出 3.8% タイ事業 1.0%</p>	<p>プラント販売の構成比は+5.3% pt、MSは-4.7% pt、コンクリートポンプは-2.5% ptとなりました。</p> <p>コンクリートポンプ 1.8% メンテナンスサービス 39.1% プラント販売 58.4% 輸出 0.3% 日工上海 0.4%</p>	<p>環境製品は大型案件の計上もあり構成比が+14.3% pt、搬送製品は-14.8% pt、搬送サービスは+0.5% pyとなりました。</p> <p>搬送サービス 3.2% 環境製品 23.6% 搬送製品 73.1%</p>	<p>新分野のモバイル製品が+5.9% ptと大きく伸びた半面、仮設機材が-2.6% pt、その他が-5.3% ptとなりました。</p> <p>仮設機材 22.9% 防水板・水門 24.1% モバイル 21.7% 土農工具 10.9% 破碎機 5.1% 開発製品 9.4% 他 5.8%</p>
事業別売上高と営業利益(率)	<p>2021年度は国内売上高が13.5%減（うちMS6.0%減）、海外売上高が27.1%増となりました。営業利益は原材料高と戦略案件も含まれたことから55%減となりました。2022年度は戦略案件の減少もあり、営業利益は増益に転じる見通しです。</p> <p>売上高 営業利益 営業利益率</p> <p>(百万円) 2017: 17,179 / 1,348 / 7.8% 2018: 16,434 / 963 / 5.8% 2019: 17,518 / 1,118 / 6.4% 2020: 19,467 / 1,239 / 6.4% 2021: 18,328 / 562 / 3.1% 2022(予想): 20,000 / 850 / 4.3%</p>	<p>2021年度は生コン価格上昇で設備更新が堅調でシェアの上昇もあり、プラント販売が29.5%増となり、MSも4.8%増でした。営業利益は計画生産によるコストダウンも出来たため、27.8%増となり、営業利益率が10.4%に改善しました。</p> <p>売上高 営業利益 営業利益率</p> <p>(百万円) 2017: 9,521 / 1,015 / 10.7% 2018: 7,893 / 666 / 8.4% 2019: 9,158 / 761 / 8.3% 2020: 9,212 / 879 / 9.5% 2021: 10,840 / 1,123 / 10.4% 2022(予想): 10,500 / 1,050 / 10.0%</p>	<p>2021年度は環境製品のまとまった売上高もあり、久しぶりに30億円を超えました。営業利益は売上増に加えて、搬送製品で3Qから値上げの効果もあり、営業利益は21.7%増となりました。2022年度は減収減益の見込みです。</p> <p>売上高 営業利益 営業利益率</p> <p>(百万円) 2017: 3,931 / 308 / 7.8% 2018: 2,775 / 417 / 15.0% 2019: 2,634 / 562 / 21.3% 2020: 2,390 / 482 / 20.2% 2021: 3,018 / 588 / 19.5% 2022(予想): 2,500 / 500 / 20.0%</p>	<p>2021年度は製品別にモバイル製品や防水板が伸びましたが仮設機材でレンタル会社向けが落ち込み、その他事業の業績は減収減益になりました。2022年度は宇宙興機が売上高で20億円、営業利益で1億円寄与しますが、防水板とモバイルの不振で減益見通しです。</p> <p>売上高 営業利益 営業利益率</p> <p>(百万円) 2017: 4,480 / 462 / 10.3% 2018: 4,677 / 502 / 10.7% 2019: 5,840 / 1,020 / 17.5% 2020: 6,790 / 1,170 / 17.2% 2021: 6,660 / 1,073 / 16.1% 2022(予想): 9,000 / 800 / 8.9%</p>
市場シェア(日工調べ)	<p>2021年度のAP需要は42台（-11台）に落ち込み、日工のシェアは69%と同一-6ptとなりました。</p> <p>日工シェア 69%</p>	<p>2021年度のBP需要は71台（-6台）と3年ぶりに落ち込みましたが、日工の静態シェアは32.9%と+0.9ptになりました。</p> <p>日工シェア 32.9%</p>	<p>2021年度のポータブルコンベヤの需要は約4,300台（横ばい）となり、日工のシェアも横ばいになりました。</p> <p>ポータブルコンベヤ(日工シェア) 60%</p>	<p>2021年度の自走式破碎機&amp;スクリーンの需要は220台、20年度比+58台となりました。</p> <p>自走式破碎機&amp;スクリーン 23%</p>